

国際政治経済学科

2012

整理番号 No	科目名 Course Name	学期 Term	配当年次・単位 Student Year(s)・Credit(s)	担当教員 Professor
312	国際政治経済学演習 (深川由起子)	通年	3年以上：4単位	深川 由起子 政政・経演・国演

副題
Subtitle

現代東アジア経済研究：グローバリゼーションと新興経済の諸問題

授業概要
Course Description

東アジア（NIEs、ASEAN、中国及びインド）経済は各国の基礎条件の多様性が強調されがちだが、経済発展の歴史が積み重なるにつれ、グローバリゼーションへの積極的な参加、「圧縮された成長」がもたらす不均衡など、多くの共通点がみられる。機会でもあり、負荷でもあるグローバリゼーションの影響は先進国でも似ているが、経済規模が小さく、政治社会構造が未成熟な新興国への影響は一層、大きい。本演習は考察対象を東アジアに限定し、グローバリゼーションへの対応という点からその経済発展メカニズムを捉えて議論を進める。東アジアは言うまでもなく日本とますます深い経済相互依存関係にあり、同時代・近隣経済の生きた「現実」を理論との接点において掘り下げることを楽しみながら勉強を進めることにしたい。

授業の到達目標
Objectives

前半はアジア経済の主要な構造問題、論点について基礎的な理解を深め、与えられた問いに沿って自分の論理を整理して述べられるようになること。問題意識を持って現代経済の諸問題を考えられるようになること。

後半は各国の事例を取り上げ、自分の仮説設定とその検証ができるようになること。

授業計画
Course Schedule

- 第1回：東アジアの経済パフォーマンス
- 第2回：輸入代替工業化と輸出主導工業化
- 第3回：産業政策と技術移転
- 第4回：直接投資
- 第5回：国際分業と産業集積
- 第6回：金融抑圧と金融抑制
- 第7回：市場拡張型政府
- 第8回：金融自由化と資本の自由化
- 第9回：通貨危機
- 第10回：ファミリー・ビジネスと経済発展
- 第11回：構造調整（企業・金融部門）
- 第12回：構造調整（労働・社会部門）
- 第13回：体制移行経済
- 第14回：経済統合と開発
- 第15回：東アジアの地域協力
- 第16回：現地演習（1）*（備考参照）
- 第17回：韓国：キャッチアップ工業化の原型
- 第18回：台湾：中小企業と産業集積
- 第19回：香港／シンガポール：開放小経済のハブ機能
- 第20回：タイ：直接投資と技術移転の課題
- 第21回：フィリピン：経済開発と民主化
- 第22回：マレーシア：経済発展と社会的求心性の維持
- 第23回：インドネシア：権威主義体制と経済ガバナンス
- 第24回：中国（1）：漸進主義的改革
- 第25回：中国（2）：対外開放とグローバリゼーション
- 第26回：ベトナム：対外開放と後発の利益
- 第27回：インド：グローバリゼーションと産業構造転換
- 第28回：ASEAN：東アジア型経済統合アプローチ
- 第29回：現地演習（2）**（備考参照）
- 第30回：まとめと卒業論文研究計画検討

教科書
Textbook(s)

授業にて指示。

参考文献
Reference Book(s)

基本的には演習開始時のシラバス及びreading packetによるが、情報収集能力を高めるために主要Journalや文献をHPから探してダウンロードする作業を課す。

評価方法
Evaluation

	割合(%) Percent(%)	評価基準 Description
試験 Examination(s)	%	
レポート Report(s)	60 %	毎週課されるレポートの内容評価(A+からDまで)。
平常点評価 Class Participation	30 %	質問の適切さ、議論の構成、討議のリード力など。
その他 Other	10 %	現地演習や外部講師授業の運営、ゼミとりまとめへの貢献。

備考
Note

学生に対する要望：

国際経済学及び経済開発関連科目を履修済みもしくは履修のこと。現地演習を実施するので、現地を旅する体力と好奇心を持ち、分量の多い英語文献を読み、英語での討論ができること。TOEIC800以上か、留学・外国滞在経験者を歓迎、同時に社会科学のツールを使うことに興味があること。留学生は早い速度の日本語討論が併せて可能なこと。演習では問題意識を持って積極的に議論を展開できること。

現地演習(1)*：夏休み中に東アジアの代表的大学を訪問し、共通テーマについて発表、討論を行う(10年度はインドネシア、11年度は中国)。

現地演習(2)**：ソウルで実施(ソウル大学、延世大学、高麗大学とのインターゼミに東大、一橋大、慶応大と参加)。

関連URL
URLs for References

<http://fukagawaseminar.web.fc2.com/>